



ち え の わ

Vol. 8

ユーカレイリー

会員 若林 擴

「ユーカレイリーとは俺のことかとウクレレ言い」のように、英語では「ユーカレイリー／ukulele」として知られた楽器でも、ハワイは勿論、日本では「ウクレレ」として知られていない楽器であり、誰でも1回のレッスンで「カイ マナ ヒラ」を弾き唄い出来る簡単な楽器であるにもかかわらず、奥の深い楽器でもあります。

「ユーカレイリー／ukulele／ウクレレ」の歴史は新しく1879年、アフリカの西にあるマディラ島からポルトガルの移民がハワイのホノルルにやってきたときに、彼らが手にしていたギターに似た4弦の楽器「ブラギャーナ」がウクレレのルーツとされています。最初のウクレレが作られたのは1880年、マニウエル・ヌネスという家具職人の手によってでした。

ウクレレとはハワイ語で、Uku (のみ) lele (飛び跳ねる)「飛び跳ねるノミ」という意味で、ハワイでは楽器を弾くときの指の動きが、跳ねるノミの姿に似ているからとの説がもっぱら受け入れられているようです。

有名なハワイアンソングの「カイマナヒラ」は、ハワイ語で火山のダイヤモンドヘッドの事で、オランダのグループ「キリマハワイアンズ」のボーカルが素晴らしく、誰でも知っている「アロハオエ」は、ハワイ王朝最後の王である、女王リリオカラニが1877年に作詞・作曲したものであります。

ロックギターの世界では、奏者エリック・クラプトンが神様と呼ばれていますが、ウクレレの世界では、ハーブ・オオタ（通称オオタサン）が神様で、誰もが一度は聞いたことのある「ソング・フォー・アナ／天使のセレナーデ」は、全世界で600万枚も売れたそうです。現在はジェイク島袋が若手ナンバーワンでウクレレの音とは信じ難いような音色で演奏します。

ウクレレの材質は、ハワイアン・コアという木材が使われていますが、現在ではとても貴重な木材で、一

本のコア材から作られたウクレレが最高級品と言われます。

私のウクレレは、元ドリフターズの高木ブーさんが、自分の体型と指の太さに合わせてデザインしたネックの長い Boo's モデルであり、私もブーさんの弟子であります。

夏はフラダンスとハワイアンミュージックです。有楽町読売ホール「フラとハワイアンナイト」に出させて頂き、高木ブー師匠の率いるブーズ・ウクレレ・アカデミーのメンバーと「カイマナヒラ」「ブルーハワイ」をボーカルとウクレレで初演奏させて頂きました。

フラダンスは健康に良いとかで、近頃、年輩者ばかりのフラダンサーが多い中で、キャシー中島の娘さんで女優の勝田雅奈恵のフラダンスの色っぽかったこと、フラダンサーはブランピーガールに限ります。

日本で唯一のウクレレ・ミュージアムが東京都台東区松が谷にオープン致しました。エリック・クラプトンのギターも有り、ギターとウクレレの歴史に興味がある方は是非行ってみることをお勧めします。

